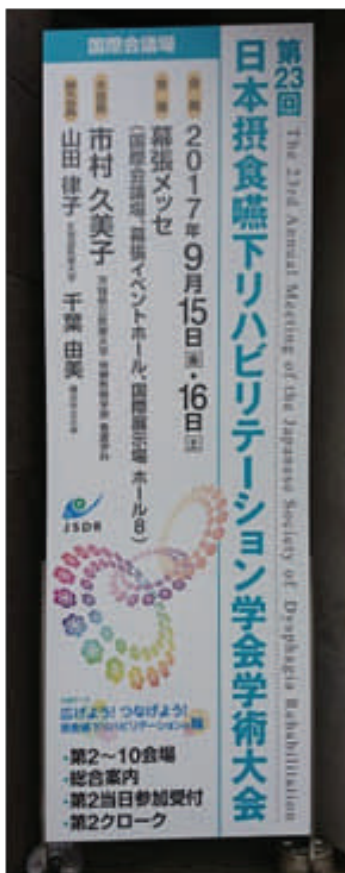


# あけぼのすぎ

都立府中療育センター新聞 第478号 発行日 平成29年10月4日

## 日本摂食嚥下リハビリテーション学会参加記

訓練科 言語聴覚士 山本 弘子



平成29年9月15日(金)・16日(土)、第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会が千葉県幕張メッセにて開催されました。この学会は、参加者が多職種で成り立っていることに特徴があります。医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等がそれぞれ専門分野を生かし、摂食嚥下障害のある方と家族をチームアプローチで有効に支える方法について、いつも熱心な討議が交わされています。

今年も参加者数が非常に多く、どの会場も満席で入口にも立ち見の人だかりができるほどの盛況で熱気に包まれていました。当センターからは、摂食嚥下ワーキンググループの渥美医師と私が口演にて発表させていただきました。渥美医師は「障害児者の摂食嚥下障害の対応について—遅れがちになる原因と対応についての検討—」という演題で、小児科医師と、障害のある人に関わる施設職員、そして家族が連携を持つことの重要性についての報告を行い、参加者の共感を呼んでいました。私は「障害児者の反芻の様相」という演題で、多くの障害児者施設で問題になっている反芻のある症例について、嚥下造影検査所見と対応法について報告しました。会場からは「同様の症例について日々悩んでいる」という感想や、同様の問題を持つ利用者への有効なアプローチについて意見を頂くことができました。小児・重症心身障害児者のセッションは、この学会においても年々発表数が多くなっています。障害児者に関わる小児科医師、歯科医師、看護師、言語聴覚士、特別支援学校教師等多職種が、「障害児の哺乳・摂食の問題と対応」、「障害を持つ方の家族へのより良いフォロー」、「嚥下障害

のある児の学校給食について」等の発表がなされました。皆がより良い医療・ケア・リハビリ・教育を障害のあるご本人・ご家族に提供すべく、日々研鑽を積んでいるという事を肌で感じました。

今回この学会に参加して得られたことをNST委員会や摂食嚥下ワーキングのメンバーとともに利用者のために活かしていきたいと考えています。



## プール納め

指導科 小峯 孝男

9月8日(金)に「プール納め」を行いました。天候に恵まれ、また、皆様のご協力により、無事行うことができました。当日は、利用者もプールサイドに集まっていただき、大いに盛り上げてくれました。最初に院長のお話があり、その後、ゲームが開始されました。「お弁当箱」の歌が流れ、「おかずさん」たちの登場です。それぞれがアピールをして、自分(おかず)を売り込みました。その後に、府中療育センタークイズを行いました。おかずさんたちは、利用者に協力をしてもらいながら、懸命に取り組んでいました。クイズ終了後、おかずさんたちの人気投票が始まりました。

おかずさんたちは、自分をアピールしながら、利用者の所に行き、ボールをゲットしました。中には、利用者に断られたり、思うようにボールをゲットできないおかずさんもいました。反対に、積極的にボールを手渡してくれる優しい利用者もいました。三階以上の病棟は特別審査員です。全員で1つのおかずを選び、非常階段に出てきた人数がそのまま票となりました。多く出てきていただいた病棟の利用者が勝負のカギを握っています。担当病棟だから票が入ると安心していただいていたおかずさんは、結果を聞いてまさかの展開に驚愕していました。人気投票の結果、ボールの数が少ないおかずさんから、プールに飛び込み、一番人気があったおかずさんが最後にプールに飛び込み、終了となりました。皆さんありがとうございました。(結果ですが、一位が「さくらんぼ」で最下位が「シイタケ」でした。)来年も利用者の皆さん元気でお会いしましょう。



## ビューティーショー

1-B 保育士 中島 千絵



昨年に引き続き、山野美容芸術短期大学より学生7名と先生3名をお呼びして、メイクアップをしてもらいました。その後美しくなった姿を病棟の皆にお披露目し、写真撮影会を行いました。

事前にどのようなお化粧品にしてもらいたいのか調べ、各自が活動で作ったメッセージカードを持って参加しました。事前にフェイスクアを行ない、お肌もきれいに整えました。また、日中活動の中でもフェイスクアの日を何日か設定し、ビューティーショーへの期待感と雰囲気作りを行いました。この準備期間から利用者の笑顔が見られましたが、お化粧品中や撮影会でも多くの笑顔が見

られました。デイルームに設置した大きな鏡の前に来て、自分の姿を見ている人、普段関心のない様子の人でも最後までしっかり目を開け参加している姿がありました。利用者の多くがおしゃれに関心を持ち、美しくなった事への喜びを表していました。以前病棟職員だった人も駆けつけ、指導科職員の応援や色鮮やかなドレスもあり、病棟内は、賑やかで華やかな会場になりました。普段体験できない貴重な時間を行事として楽しく賑やかに過ごす事ができました。一年に一度、美しく変身できる夢のような時間を行事としてこれからも設定する事が出来たら良いと思います。

## 秋のコンサート

5-A 保育士 大塚 好雄



9月20日(水)、5-A病棟では「フォルクローレの午後」と題して秋のコンサートを開きました。「フォルクローレ」とは中南米の民族音楽です。この日は演奏家の柳和男さんをお招きし、数々の名曲を披露して頂きました。「コンドルは飛んで行く」が「ケーナ(笛)」で吹かれると、大勢の来場者の方々が微笑みながら「知っている」という表情でうなずいていました。利用者も空を悠々と舞う鳥の姿を思い浮かべていたのではないのでしょうか。珍しい楽器の紹介トークもあり、アルマジロの甲羅で作られる「チャランゴ」というギターを柳さんがかき鳴らしたり、ヤギの

爪で作られた「チャフチャス」という楽器を足首に巻き付けて床を踏むたびにジャラジャラと音を鳴らすと、利用者も目を見開いて聴き入っていました。歌手の加藤登紀子さんが歌われたことで知られる「灰色の瞳」では、物悲しい「ケーナ」の音色を静かに目を閉じて聴く利用者もいました。アンコールは名曲「花祭り」を柳さんのリードで、皆で「フォルクローレ」風の手拍子を打ち、利用者も思い思いに声を出して大いに盛り上がりました。芸術の秋にちなんで世界の珍しい音楽に触れることのできたひとときでした。大勢のご来場ありがとうございました。



## オータムフェスティバル

2-A 保育士



9月15日(金)、オータムフェスティバルとして「秋のミニ運動会」を行いました。チームは赤と青の2チームに分かれ、競い合いました。デイルームには万国旗が掲げられ、旗を見て利用者はニコニコしていました。始めに福島県のお国言葉のラジオ体操で身体をほぐしました。赤・青チームで元気に応援合戦を行い、利用者がたたく力強い太鼓で皆さん気合も入り、運動会が始まりました。「ヨーイドン」で利用者2人が競いながら、景品を取りに行きました。景品には点数が隠して付いており、自力で頑張って移動する方や、車椅子から手を伸ばして上手に取っている方もいました。最後に、赤・青チームの点数が発表され、青チームの勝利となりました。真剣に景品を取る運動会の状況を見て笑ったり、雰囲気を感じて楽しむ利用者の様子が見られました。他病棟やご家族の参加もあり、応援の声で盛り上がり、賑やかに楽しく行われました。





## 第9回 センター祭 <舞台発表プログラム>



### <10月20日(金)>

晴天時:グランド舞台  
雨天時:通所棟2階 理学療法室

- 10:30 開会式(院長挨拶)
- 10:35 スペシャルゲスト  
パラリンピック「ボッチャ」の選手紹介
- 10:45 くぬぎ・レインボーコンサート:くぬぎ分教室
- 10:55 カヌ国際映画祭 in 通所:通所
- 11:15 ピンポンパンダ体操:5-A  
～ お昼休み ～
- 13:40 日本舞踊「家族踊り」:利用者家族
- 13:55 アキレス ケンタウルス:1-A
- 14:10 ブルゾンたけみ with M:2-A
- 14:35 トロとあるこう隊:5-B
- 14:40 人生の節目を祝う会

### <10月21日(土)>

晴天時:グランド舞台  
雨天時:通所棟2階 理学療法室

- 10:30 ボランティア表彰式
- 10:45 スイングビーツ  
～ お昼休み ～
- 13:55 全体制作お披露目
- 14:10 JULIE'S CLUB
- 14:55 閉会式(事務長挨拶)

### ～ ご家族・市民向け公開講座 ～

・テーマ  
「障害児者にとって  
食べやすい食形態と調理の工夫」  
～美味しく、楽しく、安全な食事のために～

・日時 平成29年10月20日(金)  
21日(土)  
12時45分から13時45分まで

・場所 あじさい館 多目的室

ご家族・市民向け公開講座

テーマ

「障害児者にとって  
食べやすい食形態と調理の工夫」

～美味しく、楽しく、安全な食事のために～

---

府中療育センターでは利用者の皆様が、安全に楽しみながらお食事ができるように、「摂食嚥下ワーキンググループ」で、様々な啓発活動を行っています。ご家族の皆様方や障害のある方に関わっていらっしゃる一般の方々にも、この機会に障害のある方にとってどのような工夫をすることで安全に、美味しく食べて頂けるのか、当館での工夫を基にお話しさせていただきます。昨年引き続き、公開講座を企画いたしました。お話しあわせの上、是非ご参加ください。

- ・ **対象** : 府中療育センター利用者ご家族の皆様 他
- ・ **日時** : センター祭り 同時開催  
平成29年10月20日(金)、21日(土) 12:45～13:45
- ・ **場所** : 府中療育センター あじさい館多目的室
- ・ **演者** : 小児科医長 瀧美 聡  
: 栄養科長 鶴見 田鶴子(管理栄養士)  
: 栄養科技能主任 宮木 絹子(調理師)

主催 NST委員会(摂食・嚥下ワーキンググループ)  
問い合わせ先 都立府中療育センター副課長 : 山本 寛野 清水 (5432)

ゲーム、体験コーナー、展示、出店などもあります。

～お待ちしております！～

〒183-8553  
東京都府中市武蔵台2-9-2  
東京都立府中療育センター  
電話 042(323)5115  
Fax 042(322)6207

\*-\*-\*ホームページもご覧下さい\*-\*-\*  
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>